



火遊びによる火災を防止しましょう

春を迎え、暖かな日が続くこの頃、子どもたちが外で遊ぶ機会も増えてきました。そこで、これからの季節はもちろん普段から気をつけなければいけないことに、火遊びがあります。火遊びによる火災は、大人がいない時に起きることが多く、通報の遅れによって、火災の拡大をまねく恐れがあります。親や周囲の大人が注意を払うとともに、日頃から子どもたちに火の怖さを具体的に教え、時には子どもの視線に立って火遊びの元になるものがないか点検するなど、大人の責任で火の元を管理しましょう。

＜火遊びを防ぐポイント＞

- 1.ライターやマッチは、子どもの手のとどかない場所に置く。
- 2.幼児期から火の恐ろしさ、火遊びの危険性を教える。
- 3.子どもだけを残して外出しない。
- 4.子どもだけでは火を使わせない。
- 5.火遊びを見つけたら、注意してやめさせる。



消火栓・防火水槽付近は駐車禁止です

消火栓、防火水槽をご存知でしょうか。これらは、火災等の災害が発生した時に欠かすことのできない「水」を、消防隊に供給する施設です。消防署では災害に備え、直ちに使用できるよう定期的に点検を実施しています。「ちょっとだけなら」と駐車して、災害が発生してしまったら…。消火栓、防火水槽付近に駐車車両があると障害になり、消火活動の妨げとなってしまいます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

○常陸大宮市内には1000基を超える消火栓、防火水槽が設置されています。

駐車禁止場所

- ・消火栓から5メートル以内の部分
- ・防火水槽の吸水口もしくは、吸管投入口から5メートル以内の部分
- ・防火水槽の側端または、これらの道路に接する出入口から5メートル以内の部分
- ・消防用機械器具置場（消防車の車庫）の側端または、これらの道路に接する出入口から5メートル以内の部分
- ・駐車車両の右側の道路上に3.5メートル以上の余地がない場合

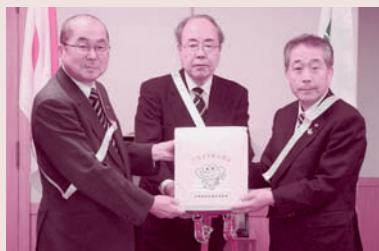
🌸 善意をありがとう 🌸

順不同・敬称略

＜新入学児童生徒の安全を願って＞



JA常陸農業協同組合
通学帽



大宮地区交通安全協会
ランドセルカバー&タスキ



常陽銀行
防犯ブザー